

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【公表番号】特表2018-508573(P2018-508573A)

【公表日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-012

【出願番号】特願2017-560892(P2017-560892)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/28	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	16/28	Z N A
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	T
C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号25 / 配列番号26または配列番号43 / 配列番号44の重鎖 / 軽鎖可変ドメイン配列を含む、IgGクラスの単離された完全ヒト抗CTLA4抗体。

【請求項2】

抗体が少なくとも 1×10^{-6} MのKDを有する、請求項1に記載の完全ヒト抗体。

【請求項3】

配列番号25 / 配列番号26または配列番号43 / 配列番号44の重鎖 / 軽鎖可変ドメイン配列を含み、ペプチドリンカーによって連結された重鎖可変ドメインおよび軽鎖可変ドメインを含むFab断片または一本鎖抗体である、抗CTLA4完全ヒト抗体断片。

【請求項4】

抗体断片が少なくとも 1×10^{-6} MのKDを有する、請求項3に記載の完全ヒト抗体断片。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の有効量の抗体または抗体断片を含み、それによりがんが治療される、がんを治療するための医薬。

【請求項 6】

がんが、膀胱がん、血液がん、脳がん、乳がん、結腸がん、線維肉腫、肺がん、卵巣がん、前立腺がん、黒色腫、リンパ腫、中皮腫および形質細胞腫からなる群から選択される、請求項 5 に記載の医薬。

【請求項 7】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の有効量の抗体または抗体断片を含み、それにより疾患が治療される、免疫応答の刺激または免疫応答の抑制のいずれかを必要とする疾患を治療するための医薬。

【請求項 8】

疾患が、前立腺がん、腎臓がん、結腸がん、肺がんもしくは乳がん；病原性の感染症；C N S に関連する疾患、アミロイド形成性アルツハイマー病；ならびに炎症性またはアレルギー性の成分を伴う疾患、移植片対宿主病、宿主対移植片病、アレルギー、自己免疫疾患および他の炎症性疾患からなる群から選択される、請求項 7 に記載の医薬。

【請求項 9】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の抗 C T L A 4 抗体またはその抗原結合断片、および医薬として許容される担体を含む医薬組成物。